



6年間で育てる

先週の金曜日は本校の研究発表会。県内だけでなく遠くは兵庫、東京、金沢等からも参加があり、250名以上の方々が授業を参観されました。

参観者の数が多いため教室には入りきれない学年もあります。そこで、音楽室や体育館も活用して授業を公開しました。多くの先生に囲まれる中、子どもたちは普段と同じように発言し、友達と話し合っていました。その生き生きと学ぶ姿に先生方から賞賛の言葉が聞かれました。

このような状況の中でも友達の意見をしっかりと聞き、自分の考えを述べることができるのは素晴らしいですね。改めて日頃の積み重ねの大切さを感じました。子どもたちにもよい経験になったことでしょう。

現在、本校では「情報活用能力」の育成に力を入れています。世の中の様々な出来事を情報やその結び付きと捉え、その中から自分にとって必要な情報を集めたり、重要な情報選んだりする。そして、それらを整理したり分析したりしながら自分の考えをまとめ、分かりやすく伝えていく。

この情報活用能力は、全ての学習の基盤であり、これからの社会を生き抜く上でなくてはならない力です。その力を1年から6年まできちんと積み上げながら育てていきたいと考えています。

今回、1年は、自分たちで考えたじゃんけんの仕組みを友達に紹介するという学習をしました。2年では、二つのものを比べ、共通点と相違点を探す学習をしました。この比較の思考は、これから情報を分類、整理する上で重要な力となります。

3年では、総合的な学習で調べた上通りの魅力を町の人たちに発信する学習を、4年では地震に備えた防災ポスターを1年から3年生に紹介する学習をしました。

さらに、5年は、入学説明会に来る新入生の保護者に対して学校紹介のリーフレットを作成、6年では、健全な食生活を過ごすためのレシピを考え、それを地域の方に紹介するポスター作りに取り組みました。

伝える内容だけでなく、方法も発表、ビデオ、ポスター、リーフレットと多様です。また、伝える相手も、同学年の友達、下級生、新入生の保護者、地域の人と様々です。

何を、誰に伝えたいのか、目的や相手に応じて適切な内容や方法を選ぶことが重要になってきます。そのような力は、一つの授業や一つの学年で身につくものではありません。1年から6年までの積み上げが重要です。6年間で子どもたちの力をどう高めていくのか、それが研究発表会での大きな主張でした。これからの子どもたちの高まりが楽しみです。

今回の発表会においてはPTAの方々にもご協力いただきました。本当にありがとうございました。